平成 31 年度いわての地域国際化人材育成事業　イーハトーブ・キャンプ実施要領

平成 31 年４月３日
岩手県教育委員会事務局　学校教育課
岩 手 県 政 策 地 域 部　　国 際 室

１　事業概要

希望する県内の小学生・中学生（義務教育学校の児童生徒を含む）及び高校生に対し、ALT 等を活用し英語を用いた学齢別・目的別のキャンプを３種類実施する。小学校外国語活動を踏まえた異文化体験から、英語４技能（「聞く」「話す」「読む」「書く」）の向上、グローバル意識の涵養、岩手の価値創造や地域国際化を目指し、段階的に内容や目的等を変えながら、岩手の地域国際化に貢献できる人材の育成を図る。なお、運営補助等を担当する高校生ボランティアも募集する。

内容の詳細については、概要「別紙１」～「別紙４」及び FAQ「別紙５」を参照すること。

【イーハトーブ・キャンプのコース概要】

コース	対　象	目　的	開催日程	会場
ホップコース（Hop）（「別紙１」参照）	小学５年生～中学１年生	外国語使用体験、異文化理解　等	①６月１日(土)	国立岩手山青少年交流の家
			②８月 31 日(土)	県立陸中海岸青少年の家
			③10 月５日(土)	県立久慈高等学校長内校
スキップコース（Skip）（「別紙２」参照）	中学１年生～高校３年生	英語技能向上、グローバル意識の涵養　等	①７月６日(土)～７日(日)	県立総合教育センター
			②12 月 14 日(土)～12 月 15 日(日)	県立総合教育センター
ジャンプコース（Jump）（「別紙３」参照）	中学１年生～高校３年生（英検準２級程度以上の英語力が望ましい）	岩手の地域国際化人材育成　等	①８月５日(月)～７日(水)	県立県北青少年の家
			②９月 14 日(土)～16 日(月・祝)	県立陸中海岸青少年の家

※　義務教育学校については、５年生～６年生を小学５年生～６年生、７年生～９年生を中学１年生～３年生と読み換えること。

※　高校生ボランティアについては、上記コースのうち、ホップコース(Hop)及びスキップコース(Skip)の募集とする。内容の詳細については、「別紙２－４」を参照のこと。

２　参加者の募集

（１）　参加者に求める資質

ア　（関心・意欲・態度）外国語でコミュニケーションをとることについて強い関心・意欲・態度があること。

イ　（主体性・積極性）困難な状況でも自分を律し、問題解決に向けて積極的・主体的に取り組むこと。

ウ　（チャレンジ精神）知的好奇心が旺盛で、様々な課題に挑戦しようとすること。

エ　（協調性・柔軟性）他者を尊敬し他から学ぶとともに、集団行動における協調性があり、異なる文化や環境に適応できる柔軟性を持つこと。

オ　（健康）心身共に健康であること。

（２）　応募・参加に係る条件

ア　岩手の地域における国際化を推進する人材育成の事業であることから、キャンプに参加する児童生徒は、研修参加後、国際関連イベント（県主催、市町村主催、学校主催あるいは民間団体主催など、主催者は問わない。個人的な活動でも可。）に１回以上参加すること。

なお、国際関連イベントの参加については、年度末までの報告を求めることとし、様式等については、各キャンプ詳細通知時に送付する。

イ　キャンプの参加については、各回とも、参加者の所属学校住所・居住地に関係なく募集する。

ウ　同コースのキャンプへの参加については原則１回のみとし、異なるコースについては、別に参加できる。ジャンプコースについては、毎回テーマが異なることから、全ての回への参加を可能とする。

エ　全てのコース及び日程において、教職員及び教育関係者の参観を可とする。参観を希望する者は、それぞれのコースの概要（別紙１～３）に従い、事前に申し込むこと。ただし、参観に係る費用については、自己負担とする。

オ　東日本大震災津波により被災した児童生徒（注）の参加については、自宅から実施会場までの交通費、参加に係る宿泊費及び食事は主催者が負担する（県の規定に基づく旅費を支給）。ただし、主催者負担は１回までとする。

※　注　東日本大震災津波により被災した児童生徒については、平成 31 年度いわての地域国際化人材育成事業実施要綱を参照のこと。

３　個人情報の取扱い

各校から提出されたエントリーシート及び推薦書等の応募書類は、本事業実施の目的にのみ使用し、他の目的には使用しないこと。

なお、イーハトーブ・キャンプは県事業として実施していることから、県ホームページ及び Facebook、各報道機関（テレビ・新聞等）において、顔、学校名、性別、年齢、氏名等が公表されることがあること。